

岡山フィルハーモニック管弦楽団特別演奏会

New Year Concert

2024

1/21 Sun.

14:00開演 (13:00開場)

岡山シンフォニーホール大ホール

名誉指揮者 シェンベルガーが届ける 熱狂のボレロ

[指揮] ハンスイェルク・シェンベルガー

[ソリスト] マルギット＝アナ・シューズ(ハープ)

[曲目]

ラヴェル/道化師の朝の歌

モーツァルト/フルートとハープのための協奏曲(オーボエ版)

モーツァルト/交響曲第31番「パリ」

ラヴェル/「ボレロ」

[入場料]

S席5,500円 A席4,400円

B席3,300円 B(ユース)席1,000円

[チケット発売]

友の会10/29(日) 一般11/5(日)

主催：公益財団法人 岡山文化芸術創造 共催：岡山市、岡山県、OHK岡山放送、岡山県音楽文化協会

特別協賛：株式会社ベネッセホールディングス

※「友の会」会員は10%割引。 ※「岡山音協」会員は5%割引。お求めは岡山音協へ。 ※B席ユースは19歳以下に限る。(学生証をお持ちの方は25歳未満までご購入いただけます) ※未就学児童の入場はお断りいたします。また、小学生以上の場合には入場券が必要です。 ※やむを得ない事情により、曲目、出演者が変更となる場合があります。 ※当ホールには駐車場がございません。公共交通機関のご利用をお願いします。



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)
独立行政法人日本芸術文化振興会

ハンスイェルク・シェレンベルガー

(指揮、オーボエ)

Hansjörg Schellenberger, conductor & oboe

1948年生まれ。大変な音楽好きの両親の元で育ち、早くから音楽に強い興味を持った。13歳からオーボエを始め、その後、ミュンヘンとデトモルトにおいてオーボエ、指揮法、そして数学を勉強。ミュンヘンのARDコンクール(1972)を含む主要な音楽コンクールで入賞後、1971年にケルン放響のオーボエ奏者となり、1975年から1980年まで同団のソロ・オーボエ奏者を務める。1977年からカラヤン指揮ベルリン・フィルにエキストラとして参加するようになり、1980年1月から2001年夏までベルリン・フィルのソロ・オーボエ奏者を務める。退団後は、指揮者、ソリストの仕事を中心に活躍している。

これまでにソリストとして、カラヤン、ジュリーニ、アッパード、ムーティ、レヴァインなどの著名な指揮者と共演。室内楽奏者としては、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンを中心に多彩な活動を展開。また、1991年にはハイドン・アンサンブル・ベルリンを設立、芸術監督を務めた。

1994年から本格的な指揮活動を開始、これまでにザールブリュッケン・カイザースラウテルン・ドイツ放送フィル、カメラータ・ザルツブルク、エルサレム交響楽団、ムニシパッド・マドリッド管弦楽団、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ管弦楽団、ローマ・サンタチェチーリア管弦楽団、NHK交響楽団、日本フィル、東京フィル、読響、名古屋フィル、京響、関西フィル、札幌、岡山フィル、兵庫芸術文化センター管などを指揮している。2012年、2016年には、カメラータ・ザルツブルクを率いて日本ツアーを行い絶賛された。2013年度から2023年3月末まで岡山フィルの首席指揮者、2021/22 シーズンよりベルリン交響楽団の首席指揮者に就任した。

マドリッドのソフィア高等音楽院で教授、また、3年に1回開かれる国際オーボエコンクール・東京の審査委員長を1994年より務めている。

CDの録音は50枚以上にのぼり、ドイツ・グラモフォン、デンオン、ソニー・クラシカル、オルフェオといったレーベルからリリースされている。1997年からは、妻とともに自身のCDレーベル「カンパネラ・ムジカ」を設立し、ベルリン・フィルの仲間たちにも参加してもらい、多くの録音をリリースしている。

New Year Concert

マルギット＝アナ・シュース
(ハープ)

Margit-Anna Süß, harp

ミュンヘンに生まれる。9歳のときランヒルド・コップの下でハープを始め、その後ミュンヘン高等音楽院でウルスラ・レントロートに、ドイツ国民奨学金とDAADからの奨学金でパリのピエール・ジャメのマスタークラスの生徒として学んだ。

ドイツ音楽協会の「若手ソリストの舞台」コンクールでは、出場者の一人に選ばれた。20歳でハンブルクNDRのソロ・ハーピストとなり、バンベルク交響楽団の常勤代理奏者を8年務めた。1987年にはオーディションを受け、ベルリン・フィルハーモニーの常勤代理奏者に就任。以来第2、第1ハープを担当、多くの著名な指揮者の下で演奏活動を行ってきた。

現在はソロと室内楽を中心に活躍中。ヨーロッパ各国や日本にも演奏旅行をしており、クラウディオ・アバド、エマヌエル・クリヴィス、デヴィッド・シャロン、ゾルタン・ベスコの下でソロ演奏、ハンスイェルク・シェレンベルガー、ヴォルフガング・シュルツ、エマヌエル・バユ、ヴォルフラム・クリスト等と室内楽演奏をしている。デンオン、ソニー、ドイツ・グラモフォン、カメラータに録音。1990年にはアンサンブル・ウィーン・ベルリン、カトリーヌ・ドヌーブとDGに録音したフランス室内楽でディスク大賞を獲得した。

Okayama Philharmonic Orchestra



岡山フィルハーモニック管弦楽団

1991年に開館した岡山シンフォニーホールは、国内外のアーティストから音響の素晴らしいホールとして高い評価を獲得。これを機に文化庁の補助を受けて、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成された岡山県初のプロオーケストラ、岡山フィルハーモニック管弦楽団が1992年に創設。

以来、世界の著名な指揮者・ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っており、公演回数は年間100回を超えている。

また、2013年には岡フィル初の首席指揮者としてハンスイェルク・シェレンベルガーが就任し岡フィル強化に取り組んできた。2022年度からは秋山和慶がミュージック・アドバイザーに就任、一層の飛躍を図る。

今後も岡山独自の音楽スタイルをもつ「おらがまちのオーケストラ」として皆様から誇りと愛情をいただける楽団へと成長すべく挑戦を続けている。

平成12年第1回岡山芸術文化賞グランプリ受賞。平成16年第1回マルセン文化賞受賞。

平成15年第4回福武文化奨励賞受賞。平成21年度岡山県教育関係功労者表彰。

平成24年山陽新聞奨励賞受賞。

プレイガイド

岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010
岡山芸術創造劇場ボックスオフィス 086-201-2200
岡山県音楽文化協会 086-224-6066
ぎんざや 086-222-3244

イープラス

チケットぴあ (Pコード:232-306)

ローソンチケット (Lコード:64912)

<https://eplus.jp/><https://t.pia.jp/><https://l-tike.com/>岡山シンフォニーホール／岡山芸術創造劇場
オンライン・チケット<https://piagetii.s2.e-get.jp/ocacticket/pt/>

※上記からもご購入いただけます。

